

CASBEE-建築(新築)2024年版
 永守重信創業記念館整備計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2024年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境					0.40			3.5
1 音環境				3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル		展示室、ラウンジはNC30~35目標		3.0	0.40			
1.2 遮音				3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		-		3.0	1.00			
2 界壁遮音性能		-						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-						
1.3 吸音		-		3.0	0.20			
2 温熱環境				3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50			
1 室温		-		3.0	0.38			
2 外皮性能		Low-Eガラスウインドウの採用		3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性		-		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		-		3.0	0.20			
2.3 空調方式		-		3.0	0.30			
3 光・視環境				4.2	0.25			4.2
3.1 昼光利用				3.0	0.38			
1 昼光率		-		3.0	1.00			
2 方位別開口		-						
3 昼光利用設備		-						
3.2 グレア対策		-						
1 昼光制御		-						
3.3 照度		全般照明方式の場合で300LX~500LXを確保						
3.4 照明制御		調光制御あり		5.0	0.63			
4 空気質環境				3.8	0.25			3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.50			
1 化学汚染物質		内部仕上は全てF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00			
4.2 換気				3.5	0.30			
1 換気量		30m ³ /h・人		4.0	0.50			
2 自然換気性能		-						
3 取り入れ外気への配慮		-		3.0	0.50			
4.3 運用管理				4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		-		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50			
Q2 サービス性能					0.30			3.6
1 機能性				3.9	0.40			3.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40			
1 広さ・収納性		-						
2 高度情報通信設備対応		-						
3 バリアフリー計画		-		3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30			
1 広さ感・景観		-						
2 リフレッシュスペース		-						
3 内装計画		コンセプトと機能が明確、照明計画とインテリアパースの検討を実施		5.0	1.00			
1.3 維持管理				4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い仕上、建材、塗装を採用している。		4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		充分な清掃と維持管理用のスペースを確保		4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				3.6	0.30			3.6
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		標準より25%増の耐震性を有する		4.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				4.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		補修必要間隔が長い外壁仕上げ材を採用		5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		更新間隔の長い主要内装仕上げ材を採用		5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管VLP、排水管VP、給湯管SUS		5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20			
2.4 信頼性				2.8	0.20			
1 空調・換気設備		-		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		節水器具採用		2.0	0.20			
3 電気設備		-		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		-		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		-		3.0	0.20			

3	対応性・更新性		3.4	0.30	-	-	3.4
	3.1 空間のゆとり		3.0	0.43	-	-	
	1 階高のゆとり	-	-	-	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	-	3.0	1.00	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	-	-	-	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.8	0.57	-	-	
	1 空調配管の更新性	展示室は天井ボード無しとし、天井ルーバーを外すことでメンテナンス	4.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	構造材を傷めることなく修繕、更新可能	4.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	展示室は天井ボード無しとし、天井ルーバーを外すことでメンテナンス	5.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	展示室は天井ボード無しとし、天井ルーバーを外すことでメンテナンス	5.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.4
1	生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	周辺のまちなみや景観に配慮し、緑化計画を行う	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物のエネルギー効率性		-	-	-	-	3.3
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ計算実施、BPI=0.54	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用(直接利用)	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	太陽光設置	2.9	0.50	-	-	2.9
	集合住宅以外の評価	-	2.9	-	-	-	
	集合住宅の評価	-	-	-	-	-	
4	効率的運用に向けた取組み		3.5	0.20	-	-	3.5
	集合住宅以外の評価	-	3.5	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.40	-	-	
	4.2 運用管理体制	運用時の設備の定期検証、不具合時の対策	4.0	0.40	-	-	
	4.3 非化石エネルギーの導入の拡大	-	3.0	0.10	-	-	
	4.4 コミュニケーションの推進	発注者、設計者、施工者同席の協議による合意形成および記録作	4.0	0.10	-	-	
	集合住宅の評価	-	-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.3
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	超節水型大便器(4.8L)採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60	-	-	3.2
	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	内装下地はLGSを設ける	4.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20	-	-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	内装仕上げは全てF☆☆☆☆	5.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	R32	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮	CO2排出率83%	3.6	0.33	-	-	3.6
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器なし	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	敷地内に、駐輪場・来客用駐車場・管理用駐車場を設置した	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	0.33	-	-	
	2 振動	振動規制に該当する機器なし	3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭	-	3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	適正な照度の設定	5.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2024年版

永守重信創業記念館整備計画

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	4.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0		○	○	○	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	8.0		○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	9.0		-	-	3.0	2.0	1.0	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0		-	2.0	3.0	3.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用(直接利用)	2.0		-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
4.1.4 コミュニケーションの推進	-		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	4.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	11.0		-	-	1.0	1.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 風光照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.5	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m ² K)	窓システム 4.0	屋根 2.0	外壁 2.0
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	η AG -
床 2.0	η AH -		
3.1.1 昼光率	1.5%		
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率	0.0%	

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	.0m ² /人	病床	.0m ² /床	シングル	.0m ² ツイン	.0m ²
--------	---------------------	----	---------------------	------	----------------------	------------------

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	0.0 VA/m ²
---------	-----------------------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	0 m
-----	-----

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	25 年
--------	------

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	30 年
--------	------

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	20 年
--------	------

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	15 年
--------	------

3.1.1 階高のゆとり

階高	0 m
----	-----

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	39.8%
-------	-------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	- N/m ²
-----	--------------------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	92%	建物緑化指数	47%
--------	-----	--------	-----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	64%	水平投影面積率	39%	地表面対策面積率	79%	舗装面積率	25%
-----	-----	---------	-----	----------	-----	-------	-----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPim	0.53	断熱等性能等級	0 相当
----------	------	---------	------

2 自然エネルギー利用(直接利用)

影響範囲の割合	0.0%	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%		
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%		
		太陽光	.5kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kWh

3 設備システムの高効率化

BEI/BEIm	再エネ有	0.71	無	0.78	オフサイト再エネ有	-	〇〇GJ/年
----------	------	------	---	------	-----------	---	--------

非住宅部分

一次エネルギー削減率	再エネ有	無					
------------	------	---	--	--	--	--	--

集合住宅

--	--	--	--	--	--	--	--

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	
---------------	---	--------------	--

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	675
---------------	---	--------------	-----

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	106%	隣接間隔指標Rw	0.31
-------	------	----------	------

地表面対策面積率	138.0%	屋根面対策面積率	#DIV/0!	外壁面対策面積率	#DIV/0!
----------	--------	----------	---------	----------	---------

見付面積Sb	see m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	184.1 m	基準高さHb	5.1 m
--------	--------------------	------------------	---------	--------	-------

緑地	2.408 m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²	再帰性反射対策面	m ²
----	----------------------	----	----------------	--------	----------------	--------	----------------	----------	----------------